

馬が繋ぐ“もうひとつのふるさと” 標茶町

北海道標茶町

【事業パターン】(1)②関係深化型（ふるさと納税型）



馬を媒介に標茶町を“もうひとつのふるさと”に。

【事業の概要】

都市圏の「乗馬ファン」「乗馬クラブ」をメインターゲットに広大な自然環境を活かした北海道標茶町ならではの取り組みで「関係人口」を創出します。

将来的には馬と一緒に暮らせる町「標茶町」となることを目指します。

(1)事業の目的・背景

標茶町では少子高齢化人口減少が最大の課題となっており、移住・定住対策を重要な政策として位置付けています。

その課題解決への取り組みの一つとして「乗馬ファンが何度も訪れたくなる地域づくり」と「馬を媒介としたユニークなふるさと納税の枠組みづくり」を進めており、その実績も踏まえて、馬を“架け橋”に標茶町の「関係人口」を創出することを目指します。

これまでの取り組みで町に来訪した方を中心にふるさと納税を募り、中でも特にコアな層を「ホースタウン・広報官」として活動してもらいます。さらには、今後の普及活動の核となる乗馬クラブを「ホースタウン・アドバイザー」として連携を深め、「クラブ会員へのふるさと納税等のPR」や「他の乗馬クラブへの広報」などの協力を得ることを計画しています。

（２）取組の内容

北海道標茶町では、軍馬生産から続く乗用馬文化と美しい自然を活かし、「馬を核とした地域づくり」を目指す、町と民間事業者による官民連携プロジェクト（道東ホースタウンプロジェクト）を展開しています。これは、馬を当該地域ならではの魅力や資産として活用し、“他の地域ではできない馬との体験”を提供することで、全国の乗馬ファンが訪れ、応援してくれる地域となることを目的としています。併せて、“馬事関連事業の安定的継続”“地域全体の活性化”の実現も目指しています。

具体的な取組の一つとして、全国の乗馬クラブ等で現役を引退した乗用馬が標茶町の豊かな自然の中でのんびりと余生を過ごせるように、受け入れのための仕組みや快適な飼育環境づくりを推進してきました。引退乗用馬を受け入れる牧場を、標茶町がふるさと納税を活用しながら支援していくことで、引退馬を預ける乗馬クラブ等の負担も軽減されるような仕組みづくりを進めています。

2019年度は、これまでの取組をさらに充実させるべく、以下の活動を実施します。

1. 2018年度事業により任命した「広報官」を媒介とした来町者の拡大
2. 広報官の協力による町内イベントでの乗馬体験実施
3. ウェブサイト・SNS・乗馬関係情報誌・乗馬関連商品取り扱いサイトを活用した広報・PR



北海道標茶町 馬が繋ぐ“もうひとつのふるさと” 標茶町 取組の全体像

(3) 実施体制

標茶町役場

標茶町地域おこし協力隊

“道東ホースタウン” 推進協議会

(4) スケジュール

引退乗馬受け入れ	2019年4月～2020年3月（通年）
引退馬と乗馬ファンのふれあいサポート	（通年）
町内イベントでの乗馬体験会	2019年7月～2019年10月（3回）
ふるさと納税サイトでのクラウドファンディング受付	2019年4月～2020年3月（通年）

【関係人口となりうる方へのメッセージ】

北海道標茶町は、北海道の東部（釧路管内）のほぼ中央に位置し、広大な土地を生かした農業を中心とするまちです。釧路湿原国立公園と阿寒摩周国立公園の大自然に囲まれており、2つの国立公園は貴重な動植物の生息地となっています。

日本一の敷地面積を誇る「標茶町育成牧場」内の多和平展望台からは、北海道でも珍しい360°の地平線が見渡せ、神秘的な夕日、満天の星、突き抜けるような青空が同じ場所で楽しめます。また、町内には多数の温泉施設が点在しており、町民から観光客まで多くの方に愛されています。

【事業ホームページ】

<https://dotohorsetown.jp/index.html>

【連絡先】

担当部局名：企画財政課企画調整係

担当部局連絡先：015-485-2111

メールアドレス：k_kikaku*town.shibecha.lg.jp

※迷惑メール防止のためアドレスを変更して記載しております。メール送信時は「*」を「@」に置き換えてください。